

《急告》京都市交響楽団「第610回定期演奏会」 ソリスト変更のお知らせ

このたび京都市交響楽団「第610回定期演奏会」への出演を予定しておりましたテノール独唱のエリン・ケイヴス氏は、体調不良のため、急遽来日が不可能となり、テノール独唱を福井 敬氏に変更して開催いたします。

ご来場の皆様には、演奏会直前の変更となりましたことを、深くお詫び申し上げますとともに、どうぞご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年3月25日
京都市交響楽団

プロフィール 福井 敬(テノール) Kei FUKUI, Tenor

☆.....

国立音楽大学卒業、同大学大学院、二期会オペラスタジオ修了。文化庁在外派遣等により渡伊。イタリア声楽コンクールソミラノ大賞(第1位)、芸術選奨文部科学大臣賞新人賞、五島記念文化賞オペラ新人賞、ジロー・オペラ新人賞及びオペラ賞、出光音楽賞、エクソンモービル音楽賞本賞等の他、平成26年度(第65回)芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。他者の追従を許さない輝かしい声、情感あふれる演技で、日本を代表するオペラ歌手として活躍を続けている。



オペラでは、新国立劇場開場記念『ローエングリン』タイトルロールをはじめ、近年では二期会『トゥーランドット』『オテロ』『パルジファル』『ホフマン物語』『ダナエの愛』、びわ湖ホール・神奈川県民ホール『アイーダ』『タンホイザー』『椿姫』『ワルキューレ』『リゴレット』『オテロ』、兵庫県立芸術

文化センター『トスカ』等出演。2016年は、びわ湖ホール・神奈川県民ホール・大分 iichiko 総合文化センター『さまよえるオランダ人』エリック、宮崎国際音楽祭『トスカ』カヴァラドッシ、二期会『トリスタンとイゾルデ』トリスタン、2017年びわ湖ホール『ラインの黄金』フロー等出演。コンサートにおいても、モーツァルト・ヴェルディ「レクイエム」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」第九、マーラー「大地の歌」「千人の交響曲」、ブルックナー「テ・デウム」、ドヴォルザーク「スタバト・マーテル」、スクリャービン「交響曲第1番」等幅広いレパートリーを誇り、2016年はサントリーホール開館記念日コンサート「第九」(ズービン・メータ指揮ウィーン・フィル)にも出演した。

CD「君を愛す」「悲しくなったときは」「この道」等多数リリース。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。